

個別事業(取組)評価			
事業No,	13	施策の柱への位置付け	柱② 教員指導力改革
事業名称	初任者研修	担当課	教育センター
		当初予算額(千円)	9,458
		補正後予算額(千円)	7,139
		決算額(千円)	6,379

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 初任者には、社会性・集団性・コミュニケーション能力の欠如が見受けられる。また、中学校の国語、数学、理科、英語等の採用倍率が5.0未満(H23)となっており、教科専門力の低下が危惧される。 ◆ 組織的に初任者を育てようとする学校の取組が不十分である。 ◆ 10年経験者研修受講対象前の若年教員が、指導教員となるケースが見られる。 	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>研修中の受講者の様子から、挨拶、言葉遣い、突発的な事象への対応等社会性・集団性・コミュニケーション能力の弱さが把握できた。</p>
		<p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ OJTによる人材育成が十分に機能していない。 ◆ 今後10年間で全体の約4割の教員が退職することから、年間約180人規模の採用が計画されている。 ◆ 教員の年齢構成の偏りにより、中堅教員が不足している。 	<p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>各課の資料及び情報提供から特定している。</p>
②	目標(Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育公務員としての自覚や心構えとともに、教科指導や学級・ホームルーム指導などに関わる実践的指導力を育成する。 ・研修の記録等の分析 A評価 50%以上 ・自己評価による伸び率10%以上 ・校長授業評価による伸び率10%以上 	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>設定した目標は適当であった。</p>
		<p>【検証(比較)方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ センター研修の記録における記述内容を分析 A評価「研修前後の課題・生かし方の確実な把握ができている」 ◆ キャリア形成プランの自己評価及び校長の授業評価の調査結果 	<p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 研修の記録等の分析 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修Ⅲ(初任者研修最終の研修)におけるA評価 55.4% ◆ 自己評価(8月、2月)による伸び率(4段階評価) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校10% ・中学校9% ・高等学校40.9% ・特別支援学校50% ◆ 校長授業評価 5回の公開授業の伸び率(4段階評価) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校14% ・中学校6% ・高等学校12.5% ・特別支援学校28%
③	実施内容(Input・Output)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育センター等研修(22日) <ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修(教員としての心構え、本県の教育課題等)3日 ・課題研修(人権教育、人間関係づくり等)3日 (内1日宿泊研修で実施) ・授業基礎研修9日 ・宿泊研修2泊3日 ・教育事務所研修5日又は県立学校研修5日 ◆ 配置校研修(150時間) <ul style="list-style-type: none"> ・教科研修90時間(内 公開授業15時間以上) ・校務等に関する一般研修60時間 	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 受講者数 小学校 28名 中学校 36名 高等学校 23名 特別支援学校 16名 合計103名 ◆ 教育センター等研修 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修 3日実施 ・課題研修 3日実施(内1日宿泊研修で実施) ・授業基礎研修 9日実施 ・宿泊研修 2泊3日実施 ・教育事務所研修又は県立学校研修 5日実施 ◆ 配置校研修は全員予定どおり実施された。
		<p>目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="text"/></p>	<p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 初任者研修だけでは求められる力を育成することが困難であるため、初任者研修から4年経験者研修までの研修体系を見直し、それを「若年教員育成プログラム」として位置付け、実践的指導力・セルフマネジメント力の向上を図っていく。 ◆ 初任者と10年経験者を中心に年次を超えた校種別のチームで協働して学ぶ「チーム協働研修」を実施し、学校現場でのOJTの活性化とともに同僚性の構築を目指していく。
総合評価と今後の方向		<p>【総合評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自己評価及び校長授業評価の調査から、配置校研修とセンター等研修のリンクのうち、必須研修とした研修内容については伸び率が高かった。センター等研修の研修内容を配置校で具体的に実践することが、初任者の実践的指導力の向上につながると考えられる。 ◆ 初任者の自己評価を分析する中で、初任者自身の評価が客観的な評価になりにくいことから、校長との協議をもとに評価することが必要であると考えられる。 ◆ 校長の授業評価の結果から、特に中学校の授業実践力に課題が見られたため、今後一層、教科指導における研修の充実を図っていく必要がある。 	